

総合的な学習の時間学習指導案

単元名「 未来につなぐ秋間の米作り 」(第5学年)

令和3年11月11日(木) 第5校時 音楽室

5年1組 19人

<授業改善の視点>

発表グループの提案について話し合う場面で、国語の既習事項や思考ツールを使ったICT機器(Jamboard)の活用で、意見を共有しながら比較分類することにより、情報や考えの整理・分析ができ、それは新たな課題発見に役立つであろう。

I 単元の構想

1 単元の目標

単元目標

- ・地域の人とともに米作りを行う活動を通して、秋間地区の米作りの課題や米作りを支える人々の思いに気づき、『未来につなぐ秋間の米作り』のために自分たちにできることを考えるとともに、秋間地区に住民としての愛着をもつ。

2 評価規準

【知識・技能】

- ・米作りの課題について、ICTなどを活用して、調べたりまとめたりすることができる。
- ・秋間地区に米作りの課題について知るとともに、秋間地区の米作りを支えている人たちがいることを理解している。
- ・いろいろな教科で学んだことを知識としてつなげ、解決策を考えたり、関連させて考えたりすることができる。
- ・秋間地区の米作りを支える人たちのために自分たちでできることを考え、行動できるようになったのは、探求的に学ぶことによる成果であると気付いている。

【思考・判断・表現】

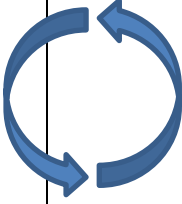
- ・資料や講師の話などから、米作りの課題を見つけたり、未来につなぐための取り組みなどを考えたりすることができる。
- ・課題の解決に向け、何をするのか、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。
- ・見出した課題に対して、解決するためにの情報を集めている。
- ・課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したりしながら、解決に向けて考えている。
- ・伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・未来の秋間の米作りについて、課題を見つけようとしたり、グループで協力して資料作りや話し合いに取り組んだりすることができる。
- ・米作り体験を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。
- ・秋間地区の米作りのために自分たちにできることを考え、行動しようとしている。

3 単元計画および指導方針（評定に用いる評価は囲い文字）

時	選	学習活動	評	指導方針 ICT 活用
15	つかむ	<p>○田植え・草取り体験、観察を行い、わかったことや考えたことなどを写真や言葉でまとめる。</p> <p>○課題について、全体で話し合う。</p> <p>○自分の取り組みたい課題について考える。</p>	<p style="text-align: center;">知 恩</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域団体」の協力を得て、交流しながら体験や観察などを行うことで、米作りに興味をもち、課題に気付くことができるようにする。 <li style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">・社会科「米作りの盛んな地域」との関わりを深め、NHK for schoolの動画視聴したり、外部講師へインタビューを行ったりすることで、課題に気づくことができるようにする。 <li style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">・オクリンクで話し合いを進めることで、自分の課題をしぼれるようにする。 ・同じ課題の児童でグループをつくることで、協力して課題を追求することができるようにする。
<p><単元の課題> 秋間の米作りを未来へつなぐために、自分たちができることは何か考えよう</p>				
10	追究する①	<p>○課題ごとのグループで話し合ったり調べたりする</p> <p>○グループの課題を解決するための取り組みについて考える。</p> <p>○稲刈り体験、作業見学を行い、わかったことや考えたことなどをオクリンクを活用して、写真や言葉でまとめる。</p> <p>○課題を解決するための方法について発表するための、プレゼンテーション資料を作成する。</p>	<p style="text-align: center;">知 恩</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の話にインタビューをすることで、自分たちができることを考えたり助言を受けたりする。 ・言語能力を伸ばすためにも、国語科での既習事項（下記の関連教材）を書いたり話し合ったりする活動に生かす。 ・書いたり話し合ったりする活動では、国語科の既習事項を想起させる助言をすることで、国語科の学びを生かすことができるようにする。 ・単元名 「新聞を読もう」 「たがいの立場を明確にして話し合おう」 「グラフや表を用いて書こう」 <li style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;">・オクリンクを活用して、グループの課題をまとめ、聞き手に分かりやすい発表を意識した、グループの提案を示せるように支援・指導する。

10	追究する②	<p>○グループごとに提案し、話し合う。 ・他のグループの提案を聞き、自分たちの提案に生かせることを思考ツール（座標軸シート）を使って話し合う。</p> <p>①グループ名『お米くん』 課題：『耕作放棄地問題』</p> <p>②グループ名『お米オールスターズ』 課題：『高齢化・後継者問題』</p> <p>③グループ名『米 money 隊』 課題：『米作りもうからない問題』（高山小との遠隔交流）</p> <p>④グループ名『おせき班』 課題：『米の消費量減少問題』</p> <p>⑤グループ名『お米探偵 米まいマイス』 課題：『お米余り・海外からの輸入問題』</p>	<p>恩 主</p> <p>・話し合う活動では、国語科の「考えを図に表そう」の学習で学んだ、思考ツール（座標軸シート）を使用することで、国語科での学びを生かすことができるようにする。【Jamboard】</p> <p>思考ツール（座標軸シート）を活用し比較分類することで、考えを整理・分析することができるようにする。 【Jamboard】</p> <p>・次の1から4を繰り返すことで、探究的な学びができるようにする。</p> <p>1 他のグループの提案を聞く</p> <p>2 自分のグループとの比較</p> <p>3 生かせることを整理・分析</p> <p>4 検討</p> 
5	まとめる	<p>○感謝の会 ・地域団体へ感謝の気持ちや自分たちの秋間の米作りへの思いを手紙に書き、感謝の会で渡す。 ・全校の前で、お米のついで発表を行い、全校児童や地域の方にお米に関する問題を伝え、自分たちで考えた問題の解決策を提案する。</p> <p>○オープンスクール ・オープンスクールで、今まで発表した内容を改善したものをお家の人に発表し、お家の人も巻き込んで、お米問題について考える。</p> <p>○4年生に提案を発表し、米作りへの取組を引き継ぐ。</p> <p>○関連活動として、しめ縄づくりを行い、日本の伝統文化に触れる。（検討中）</p>	<p>恩 主</p> <p>・単に体験したこと（田植えや稲刈り）などの感謝の気持ちだけではなく、秋間の米作りのために考えたり取り組んだりくださっていること、今後自分たちにできることへの協力などにも触れるようにする。（全校の児童・地域の方にも伝える。）</p> <p>・話し合いから、新たな考え加えた発表を行うように指導する。【オクリンク】</p> <p>・お家の人や秋間の米の会の方々を招き、すべてのグループの発表を見てもらい、お家の人や秋間の米の会の方々から、自分たちの提案について意見をもらう。</p> <p>・4年生に自分たちの5年生の取り組みを知ってもらい、来年度の取り組みについてイメージを広げてもらったり、引き継いでほしいことについて伝えたりする。</p> <p>・自分たちが学習したことを未来へつなげていくために、下級生にも引き継いでほしいという意識をもたせる。</p> <p>・お家の人や地域の方、4年生にオクリンクを活用して分かりやすく伝えるように指導する。【オクリンク】</p> <p>・言語活動（表現力）として、相手にもわかりやすく伝える力をつけるようにする。</p>

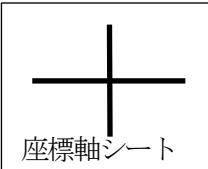
4 校内研修とのかかわり

- 社会科「米作りの盛んな地域」の学習や地域の方からの話をもとに課題を見つけるために、教科担任や地域の方との連携をとって、指導計画を立てる。
- 言語能力を伸ばすために、国語科での学習を生かし、書く・話す・話し合う活動につなげるように意識して、指導計画を立てる。
- 主体的に考えたり考えを整理・分析しやすくしたりするために、ICTを有効に活用する。

II 本時の学習

<ねらい>

- ・発表グループの提案を伝えたり、聞いたりし、自分たちの課題を解決するために参考にできることを考える。

学習活動 ☆児童の意識	時間	指導上の留意点 ICT 活用
<p>1 めあてを捉え、学習の見通しをもつ。</p>	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;"> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの振り返り（学習）を確認することで、本時の活動に生かすことができるようにする。【オクリンク】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のノートを活用することで、相手に伝わり易い発表ができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> おせき班の提案を伝えたり、聞いたりして、自分たちの提案に生かせることをみつけよう</p> </div>
<p>2 おせき班グループの発表を行う。</p> <p>3 グループごとに〇〇グループの提案について、自分たちの考えを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><見るポイント> 共通しているところは何か。 違う考えは何か。 参考になったことはどんなことか。</p> </div> <p>4 他のグループのシートを見て、自分たちの提案に生かせることを見つかる。 (共通している考えはないか確認する) ☆〇〇という考えは、みんなでやっていけそう。 ☆〇〇は難しい。 ☆〇〇という考えは難しいが、〇〇と工夫すれば、できるかもしれない。</p> <p>5 全体で話し合う。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ> ・〇〇について、これから取り組む。 ・さらに〇〇という課題がある。</p> </div>	<p>5分</p> <p>10分</p> <p>10分</p> <p>5分</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のポイントと聞くポイントを示すことで、話す視点、聞く視点を意識することができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツール（座標軸シート）を使用することで、グループの考えを整理しながら、話し合いをできるようにする。【Jamboard】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・座標軸の視点を「自分たちができそうなこと・難しいこと」、「家族・地域、市ができそうなこと・難しいこと」とすることで、自分たちの提案が、どのように実現可能なのか、考えられるようにする。 ・発表グループは、他のグループの話し合いに参加（司会）することで、多様な考え方に触れることができるようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  <p>座標軸シート</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国語科の「考えを図で表そう」の学習を生かし、考えを分類しながら、話し合わせる。</p> </div> </div> <p>座標軸 横軸：自分たちができそうか・難しいか 縦軸：家族・地域・市ができそうか・難しいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループのシートをみられるようにすることで、自分たちのグループの提案に更に生かすことができるようにする。 ・「共通しているところ」「違う考え」「参考になったこと」といったポイントを示し比較分類することで、自分たちの考えを、情報や様々な考えから整理・分析することができるようにする。 ・気付いたことや考えたことを情報ノートにメモするように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おせき班グループに、それぞれのグループで話し合ったことをオクリンクを活用してまとめさせる。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】（見取りの方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較しながら、解決に向けて考えている。（話し合い活動・Jamboard） </div>		

7 本時の振り返りをする。	5分
〈振り返りの観点〉 ①発表の時、発表の仕方や聞き方はどうであったか。 ②話し合いの時、自分の考えをもてたか。 ③今日の学習を通して、これから生かしたいことは何か。	

・それぞれの振り返りの時間をつなげるためにタブレットに入力させ、次時の学習へつなげるように助言する。特に観点③について振り返るように促す。早く書けた人には、観点①②について書き加えるように指示する。
【オクリンク】

・振り返りの時に、言葉のノートを活用させる。

<板書計画>

